SENSOR MASTER IV

取扱説明書

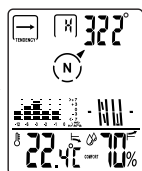
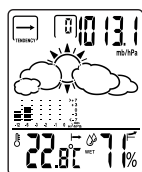
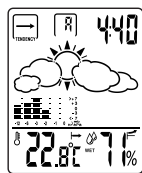
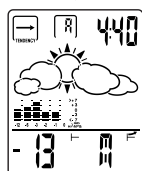
**この製品はお届け時に、電池の消耗を抑えるため、
パワーセーブにしています。
始めに、時刻、コンパス、気圧等を設定して下さい。**

■ 各部の機能と概要

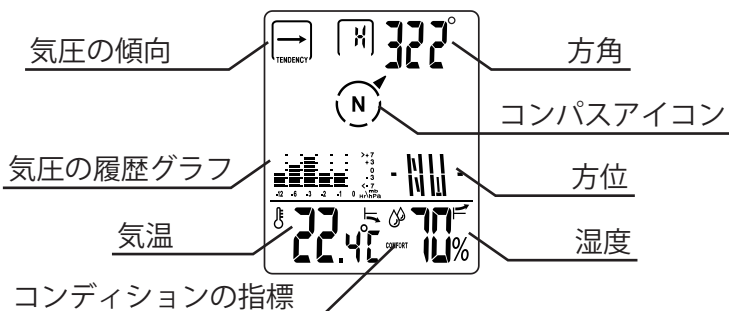
■ 起動方法

ボタンを押すと、画面が表示します。
何も表示されない場合や、正常に表示されない場合は、
電池を取り出してから再度入れて下さい。
→電池の取り出し方は、**5-2**を参照。

■ 各モードについて

この製品には、4つのモードがあります。
MODEボタンを押すたびに、順に切り替わります。

1. コンパス [COMP]
方角の確認ができます。
最初に「COMP」と表示します。

2. 気圧計 [BARO]
現在の気圧、過去12時間の
気圧の変化の履歴、最高気圧、
最低気圧の確認ができます。
最初に「BARO」と表示します。

3. 時刻 [CLK]
現在の時刻が確認できます。
最初に「CLK」と表示します。

4. 高度計 [ALTI]
現在の高度、過去の最高高度、
最低高度の確認ができます。
最初に「ALTI」と表示します。

1. コンパス [COMP]

■ 1-1 画面の見方

コンパスアイコン

常に北を指します。

方角、方角

現在向いている方位と方角を指します。
磁気製品や電気機器、金属などが近くにあると
正確に動作しません。
方角が「Err」表示の場合はキャリブレーションを行って下さい。
→ 設定については、**1-2**を参照。

※ 気圧の傾向、気圧の履歴グラフ、気温、湿度、
コンディションの指標の見方は、**2-1**を参照。

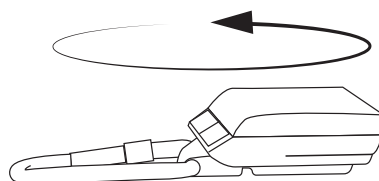
■ 1-2 キャリブレーション（コンパスの設定）

以下の場合は、キャリブレーションをして下さい。
・方角が「Err」の表示。
・数値と方位に、10度以上の大きな誤差。
・車や電車など、磁場に干渉しやすい乗り物から降りた後、
初めて使用する場合。

キャリブレーションのやり方

車や電車や家電製品の近くを避け、
磁場の影響のない場所でして下さい。

1. MODEボタンを長押しすると「CAL」が表示します。
DATAボタンを押すと点滅し、コンパスアイコンが
回転します。

2. 本体を画面を上向きにして水平を保ったまま、
2回転させて下さい。
20秒〜60秒で1回転する速さで回して下さい。

3. DATAボタンでキャリブレーション完了。
元のコンパス [COMP] の画面に戻ります。

■ 1-3 デクリネーション（偏角）
コンパスの指す磁北と、地図上の北には誤差があります。
地域ごとに異なっているため、
東(E)または西(W)に誤差を調整する必要があります。
本製品を初めて使用される場合、電池交換の後、
使用場所が大きく変わる場合は設定して下さい。
→ 各地の角度は、**7**の表を参照。

デクリネーションのやり方

1. MODEボタンを長押しすると「CAL」が表示します。

2. MODEボタンを押すと「CAL」が「DEC」になり、
画面下にデクリネーション設定(ONかOFF)が点滅。

3. DATAボタンで「ON」を選択。
MODEボタンで決定し、次の設定に進みます。
※「OFF」にすると、この後の数値を設定しても
反映しません。

4. 画面下に誤差の方向(EかW)が点滅。
DATAボタンで選択。（東京は「W」を選択）
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

5. 右上に角度が点滅。
DATAボタンで数値を設定(0〜99。東京は7)
選択後、MODEボタンで設定完了。
元のコンパス[COMP]の画面に戻ります。

2. 気圧計 [BARO]

■ 2-1 画面の見方

現在の気圧
単位をmb/hPa(ミリバール/ヘクトパスカル)と
inHg(水銀柱インチ)に変更できます。
→ **2-3**を参照。

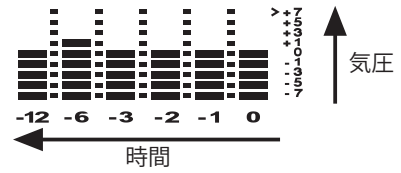
天気の傾向、天気予測
現在の天気を表示するものではありません。
今後の天気を予測し、4つのアイコンで表します。
**※気圧の変化から天気を予測するため、
高度が違う場所に短時間で移動すると正確な天気予測が出来ません。**

晴れ

晴れ時々曇り

曇り

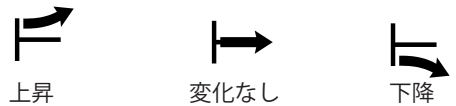
雨

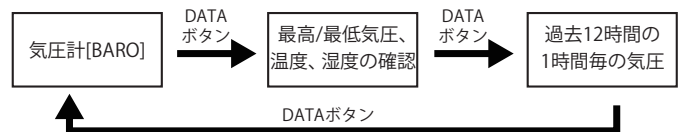
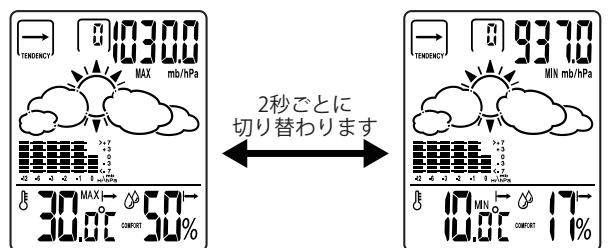
気圧の履歴グラフ
過去12時間の気圧の変化を、棒グラフで表示。
横軸は時間を指します。
（12時間前、6時間前、3時間前、2時間前、1時間前、現在）
縦軸は現在を基準(0)とした気圧の変化。

気圧の傾向
気圧の変化の傾向を「上昇、変化なし、下降」の
3種類で示しています。

上昇

変化なし

下降

現在の気温、湿度
現在の気温と湿度の、右上にある矢印のアイコンは、
変化の傾向を「上昇、変化なし、下降」の3種類で
示しています。

コンディションの指標
気温と湿度を元に、現在の状態を3段階で表示。
WET(多湿)、COMFORT(快適)、DRY(乾燥)
気温と湿度の間に、小さい文字で表示します。

■ 2-2 過去のデータの見方
DATAボタンを押すと、過去のデータを表示。
「過去の最高/最低気圧、温度、湿度」と
「過去12時間の1時間毎の気圧」の2種類。
DATAボタンを押すたびに切り替わります。

最高 / 最低気圧、温度、湿度の確認
気圧、温度、湿度のそれぞれの最高と最低が
2秒ごとに自動で切り替わります。
DATAボタンを長押しすると、リセット。
特定の項目を個別にリセットはできません。
50秒間何も操作をしないと、自動的に気圧計[BARO]に
戻ります。

最高気圧、温度、湿度画面
気圧表示の下と気温表示の上に
「**MAX**」と表示。

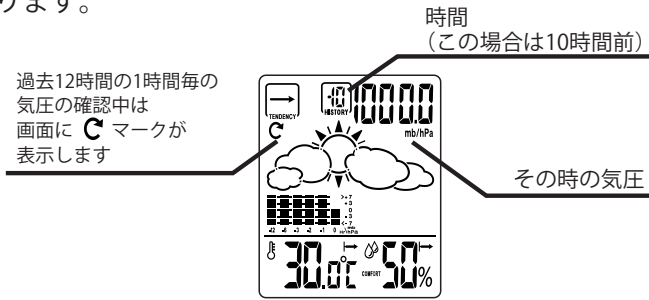
最低気圧、温度、湿度画面
気圧表示の下と気温表示の上に
「**MIN**」と表示。

過去12時間の1時間毎の気圧の確認

画面左に C マークが表示。
画面上に過去の時間と気圧を、
最大12時間まで、2秒ごとに時間が戻って表示します。
DATAボタンを長押しすると、リセット。
50秒間何も操作をしないと、自動的に気圧計 [BARO] に戻ります。

時間
（この場合は10時間前）

過去12時間の1時間毎の
気圧の確認中は
画面に C マークが
表示します

その時の気圧

■ 2-3 気圧の設定

気圧、天気予測、高度の精度のために設定して下さい。
気圧の単位 (mb/hPaもしくはinHg) や
気温の単位 (℃もしくは°F) もここで選べます。

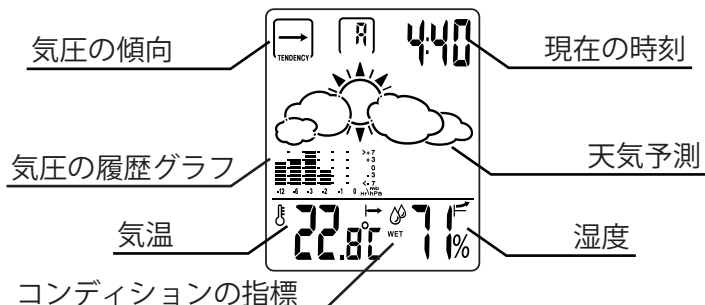
1. MODEボタンを長押すると、
右上の気圧の単位 (mb/hPaもしくはinHg) が点滅。
DATAボタンで選択。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

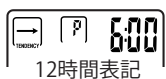
2. 気圧が点滅。
DATAボタンで海面気圧を設定。
ボタンを押し続けると数値が早く変わります。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

3. 天気アイコンが点滅。
DATAボタンで現在の天気を選択。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

4. 画面下の気温の単位 (℃もしくは°F) が点滅。
DATAボタンで気温の単位を選択。
MODEボタンで設定完了。
元の気圧計 [BARO] の画面に戻ります。

3. 時刻 [CLK]

■ 3-1 画面の見方

現在の時刻

12時間表示と24時間表示が選べます。
→ **3-2** を参照。
12時間表示は、時刻の左に「A」か「P」が表示。

※ 気圧の傾向、天気予測、気圧の履歴グラフ、気温、湿度、コンディションの指標の見方は、**2-1**を参照。

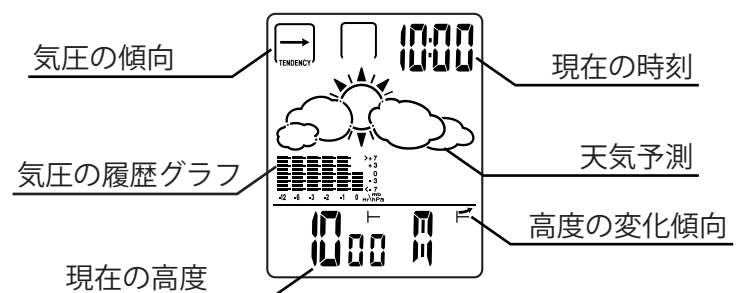
■ 3-2 時刻の設定方法

1. MODEボタンを長押しすると
右上の表示 (12Hrか24Hr) が点滅。
DATAボタンで選択。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

2. 時が点滅。
DATAボタンで時間を設定。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

3. 分が点滅。
DATAボタンで分を設定。
MODEボタンで設定完了。
元の時刻 [CLK] の画面に戻ります。

4. 高度計 [ALTI]

■ 4-1 画面の見方

現在の高度

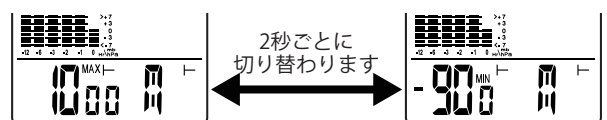
単位はM (メートル) とFt (フィート) の表示が可能。
→ 表示の変更は、**4-3**を参照。

高度の変化傾向

高度表示の右上の矢印のアイコンは、変化の傾向を「上昇、変化なし、下降」の3種類で示しています。

※ 気圧の傾向、天気の予測、気圧の履歴グラフの見方は、**2-1**を参照。

■ 4-2 過去のデータの見方

DATAボタンを押すと、過去の最高高度、最低高度を表示。
最高高度と最低高度が、2秒ごとに自動で切り替わります。
DATAボタンを長押しすると、リセットします。
DATAボタンを押すと、高度計 [ALTI] に戻ります。
50秒間何もしなくても、自動で高度計 [ALTI] に戻ります。

■ 4-3 高度の設定

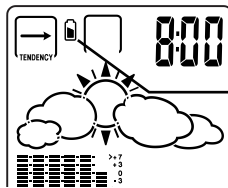
高度計の精度を維持するために、
現在地の高度が分かっている場所で行ってください。
単位 (Mもしくはft) も設定できます。

1. MODEボタンを長押しすると、
右下の高度の単位 (Mもしくはft) が点滅。
DATAボタンで選択。
MODEボタンで決定、次の設定に進みます。

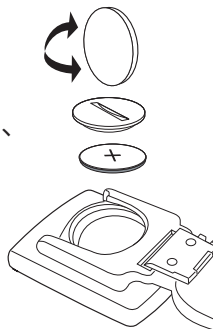
2. 高度の千の位が点滅。
現在地の高度を、一桁ずつ設定します。
DATAボタンで、現在地の高度の千の位を設定。
高度をマイナスにする場合はマイナス（-）を選択。
MODEボタンで決定、百の位の設定に進みます。
同様に、十の位、一の位と設定をして下さい。
MODEボタンで設定完了。
元の高度計 [ALTI] の画面に戻ります。

5. 電池について

■ 5-1 電池について

電池の残量が低下すると、
画面上に電池のアイコン (▮) が表示。
電池の交換をして下さい。

電池残量低下アイコン

■ 5-2 電池の交換方法

電池は、3Vのボタン電池(CR2032)です。
コイン等を使い、本体裏のカバーを
反時計回りに回し、外します。
＋(プラス) 面をカバー側 (上側) に入れて、
カバーを閉めて下さい。
警告：電池は取り扱いを誤ると
発火、爆発する可能性があります。
違う電池を入れたり、充電や分解、
火に近づけないで下さい。

6. トラブルシューティング

■ 画面が動かなくなった

電池を取り出してから、再度入れて下さい。
→ 電池の取り出し方は、**5-2**を参照。

■ ディスプレイの表示や、数値が明らかにおかしい

電池が消耗しているか、接触が悪い可能性があります。
電池を取り出してから再度入れるか、新しい電池と交換して下さい。
→ 電池の取り出し方は、**5-2**を参照。

■ コンパスの表示がおかしい、「Err」と表示される

キャリブレーションが正しく行われていないか、
磁気等の影響を受けている可能性があります。
→設定は、**1-2**を参照。

■ 気温が正しく表示されない

直射日光、エアコン、ヒーター等の影響が考えられます。
場所を変えて、再度確認して下さい。

■ 高度が間違っている

高度は気圧の測定値に基づいて算出する為、
気圧の変化の影響を受けます。
高度の数値が分かっている場所で、高度の再設定と、
海面気圧の設定をして下さい。
→高度の設定は、**4-3**を参照。
→海面気圧の設定は、**2-3**を参照。

7. 国内主要都市の磁気偏差角度

**※この製品の磁気偏差角度は、小数点以下は入力できませんので、下の表を参考に
最寄りの地域の磁気偏差角度を四捨五入して整数を入力してください。**

都市名	角度	都市名	角度	都市名	角度	都市名	角度
札幌	W9.2	千葉	W6.8	津	W7.0	徳島	W7.0
旭川	W9.5	東京	W7.0	大津	W7.3	高松	W7.2
帯広	W8.8	横浜	W7.0	京都	W7.3	松山	W6.8
青森	W8.3	新潟	W8.2	大阪	W7.0	高知	W7.0
盛岡	W8.0	富山	W7.8	神戸	W7.2	福岡	W7.0
仙台	W8.0	金沢	W7.7	奈良	W7.2	佐賀	W6.8
秋田	W8.3	福井	W7.8	和歌山	W7.0	長崎	W6.5
山形	W7.2	甲府	W6.2	鳥取	W7.8	熊本	W6.5
福島	W7.5	長野	W7.3	松江	W7.7	大分	W6.8
水戸	W7.0	岐阜	W7.3	岡山	W7.3	宮崎	W6.2
宇都宮	W7.3	静岡	W6.5	広島	W7.2	鹿児島	W6.3
前橋	W7.3	名古屋	W7.2	山口	W7.0	那覇	W4.7
さいたま	W7.0						

出典：国土地理院ウェブサイト　(http://www.gsi.go.jp/buturisokuchi/geomag_index.html)

※磁気の方向と大きさは、時間や場所によって異なり、常に変化しています。
詳細や最新の情報は国土地理院のWEBサイト等でご確認ください。

製品仕様

・高度計
高度　-999～9999m / -2999～19999ft
表示　1 m , 1ft ごと
最大 / 最小高度記録
高度傾向表示

・気圧計
気圧　800hPa/mbar ～ 1099.9hPa/mbar
23.63inHg ～ 32.49inHg
表示　0.1hPa/mbar, 0.01inHgごと
最大 / 最小気圧記録
過去12時間の気圧履歴とグラフ表示
気圧に基づく天気予測
(晴れ、晴れ時々曇り、曇り、雨)
気圧傾向表示

・デジタルコンパス
矢印、数値、方位の3種類の表示
表示　1° ごと　(誤差±5°)
磁場の歪みアラート

・温度計
温度　-10℃ ～ 60℃
℃/°F 選択可能
最高 / 最低気温記録
気温傾向表示

・湿度計
相対湿度　20% ～ 99%
最高 / 最低湿度記録
湿度傾向表示

・時刻
時,分のみ
12H / 24H表示切替

・防水
IPX3

・カラビナ耐荷重
垂直方向　50kg